

PBLメッセ 2021



— 激動の時代のPBL —

予測不可能な時代に必要な汎用的能力を育むPBLという学びは、今回のコロナ禍という事態に、どのように適応したのか、またすべきなのか。

国内の先進的なPBLの実践事例を学校種を超えて共有し、PBLで育むべき資質・能力の議論を更に深める。

2021年6月26日（土）13:30-17:40
東京電機大学 東京千住キャンパス 5号館5203
および Zoomでの同時ハイブリッド開催



第1部

開会式の挨拶 市川 洋子（日本PBL研究所理事長）

PBLアドバイザー 認定式

基調講演 「コロナ禍で問われるPBLのリジリエンス」
広石英記（東京電機大学）

第2部

校長 松山清美 名古屋市立矢田小学校
PBLを取り入れた「わくわく学習」の実践

教諭 尾形望 グリーンヒルズ小学校・中学校
人と社会がつながるプロジェクト学習
～災害復興への自分たちの関りを探る～

教諭 吉崎亜由美 桐朋女子中学・高等学校
PBLを取り入れた高等学校地理の授業デザインと生徒の変容

教諭 藤枝尉将 八王子実践高等学校
PBL型授業で獲得する主体性と社会貢献意識

准教授 近藤裕子 山梨学院大学
PBL型ライティング教育の実践

教授 布柴達男 国際基督教大学
大学の一般教育科目「環境研究」でのPBLの実践
～コロナでも止まらない学び、主体的アクション～

